

平成23年度 たっち 事業計画概要

【前年度の概況】

- 1 1年を通じて、大きな事故なくのべ利用者数は11万人に及んだ。
- 2 利用者向けに掲示板、案内ファイルを整備・更新
- 3 全ての事業において、前年度利用者数を上回った。
- 4 内外の研修に積極的に職員を派遣・推薦した。
- 5 高齢施設指定医に助言をいただくなど、適切なメンタルケアの在り方を検討
- 6 しらとり定例のケース会議に職員が出席した。
- 7 具体的な提案のとりまとめには至らず、引き続き課題である。

【前年度目標】

- 1 子どもたちが、楽しく安全、安心して利用できる場を、利用者へ提供する。
- 2 子育て関連情報の把握、発信を行う。
- 3 関係機関と連携し、全ての子育て家庭を支援する。
- 4 職員一人一人のスキルアップを図るとともに、組織力強化としてのチームワークの向上
- 5 相談員・支援ワーカーとしての経験、専門性を活かした、職場内メンタルケアの体制整備
- 6 子ども家庭支援センターしらとりとの連携
- 7 子育て支援に関する、新たな事業展開に向けて、具体的なサービス案を検討する。

【新年度重点目標】

- 1 利用者の仲間作りを支援する。
- 2 防災・防犯のために研修、特に地震に関する対応強化
- 3 会計の仕組みや事業を取り巻く制度・情勢の動向の理解を重点項目とする、チャレンジプランに取り組む。
- 4 サービス事業のための連携強化、ボランティア育成、受け入れのための基盤整備を行う。
- 5 事業運営における市職員との協働体制のさらなる充実
- 6 職員が心身ともに健全に勤務できる環境整備
- 7 子育て支援の今後についてあるべき姿を検討する。

【施設管理運営目標】

- 1 職員個々が、組織図に従って定常業務をしっかりと行うとともに、会議や研修を通して人材育成をしっかりと行う。
- 2 ボランティア対応強化に向けた専任職員のスキルアップ～ボランティア・コーディネーター養成（府中市、社会福祉協議会との積極的連携）
- 3 講座・交流会は部署の枠を超え、全職員の連携の下企画・運営する。
- 4 毎月防災訓練を実施する。年2回、たっちの入っている「くるる」防災訓練においても積極的に役割を担い、自主訓練においては消防の指導訓練を1回実施する。

【施設内共通支援目標】

- 1 利用者がまた来館したくなるように職員一同マナーや思いやりを心がける。
- 2 アンケートにより利用者のニーズを把握、的確にサービスに反映する。
- 3 必要な情報の共有や状況把握のための連携、情報交換を随時、定例で行う。
- 4 地域の活性化に繋がるボランティアの受け入れ、育成に積極的に取り組む。
- 5 0歳児・1歳児を対象とした交流会を実施し、利用者同士の仲間作りを支援するとともに、保護者のリフレッシュを図る。また、利用者のニーズを把握し、地域の方々に喜ばれるような講座を実施する。
- 6 「家族支援システム」を、適切な利用者支援に向けて活用する。

【法人本部】

- 1 職員の育成
 - ① 福祉職のプロを育成する
 - ② 未来につながる中堅層の意図的育成
- 2 サービス向上
 - ① 法人としてのサービスの平準化
 - ② 地域拠点としての施設機能強化
 - ③ 家族支援システムの定着
- 3 業務管理体制推進
 - ① 適正な人員配置に基づく組織づくり
 - ② それぞれが責任をもった管理体制の徹底
- 4 施設基盤の整備
制度改革がすすむの中で**社会福祉法人としての基盤強化**する。
2000年以降新たな環境を乗り越えるために
第1期 課題整理と基本的対応（～2004年）
第2期 具体的な体制整備（2005年～2010年）
法人全体でとりくんできた**2011年からの当面3か年**を第3期と位置づけ第2期の取り組みを定着、浸透させる。

総合相談		家族支援		
受付	相談	ひろば	リフレッシュ保育	ファミリーサポート
<ol style="list-style-type: none"> 1 サービス利用のための説明や資源紹介を行う。 2 保健室を活用し、子どもの身体測定を行う。 3 子育て環境の整備、子どもの安全に関する情報の発信 4 地域のボランティアや子育てひろば、サークルとつながりを持ち、情報を収集、提供する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども・子育て家庭に関する相談を受けていく。府中市と連携し、子ども虐待の予防・早期発見に努める。 2 日頃より関係機関との連携に努め、行政機関への通告や介入が必要とされる場合には速やかに対応する。 3 たっち全部署、しらとりと連携し、利用者やその家族の生活全般を総合的に支援する 	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者が安心して安全に居心地よく過ごせる場所として、環境整備に努める。 2 全ての子どもたちが安全に過ごせるように見守り、声かけを行う。 3 設備・遊具・おもちゃは毎日清掃・消毒し、定期的に安全点検を実施する。 4 日常的な子育ての不安や悩みの相談に応じる、相談員につなげる。 5 親子のふれあいが深まる行事を行い、ひろば内の装飾にも工夫を凝らす。 6 親子同士の出会いの場「ひろばでタッチ」を定例行事として毎月実施する。 7 多数の利用者が集う場であることを踏まえ、感染症の予防に努める。 8 日々の関わりを通じてやアンケートにより利用者の気持ち、ニーズを把握し支援の充実に努める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもたちのありのままの姿を受け止め、子どもも保護者も安心して利用できる保育に努める。 2 様々な子どもたちが日々入れ替わり利用する中で、それぞれの状況に合った時間が過ごせるように保育する。 3 保育中の子どもたちの様子、状況を把握し成長・変化に応じた個別的な働きかけを行う。 4 報告・連絡・相談を徹底し職員の意思の疎通を図る。相談員と連携するなど、多角的に親子を支援する。 5 OJTや各種研修参加によるスタッフのスキルアップ、保育の質の向上を目指す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 スムーズな利用のための、会員登録に関する業務を行う。 2 安心して会員活動ができるように、援助活動の調整に関する業務を行う。 3 安心・安全を目指し、援助活動に係る講習および指導に関する業務を行う。 4 事業の活性化を目指し、サブリーダー育成および連携に関する業務を行う。 5 充実した活動に向けて、会員間の交流に関する業務を行う。 6 必要に応じた、関係機関との連絡調整に関する業務を行う。 7 子育て支援の充実のため、センターの広報に関する業務を行う。 8 常に防災を心がけ火を出さない。

会計・庶務・事務局担当

- 1 予算管理と執行管理を適切に行う。
- 2 月次の資金収支を正確に把握し、会計責任者へ報告する。
- 3 職員研修などを通して職員への予算・執行の周知をはかる。
- 4 新会計基準への移行準備。